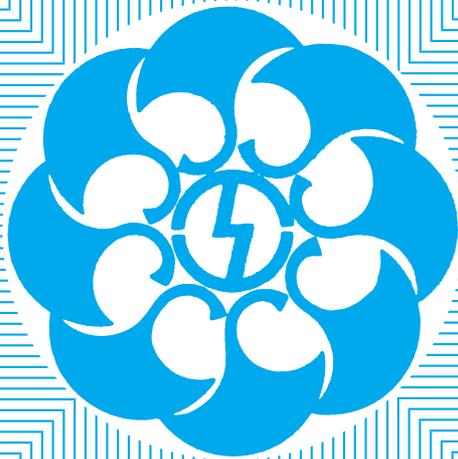


会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第108号



目 次

(社)日本空調衛生工事業協会第17回全国会議を鹿児島市で開催	1
(社)日本空調衛生工事業協会平成22年度関東支部総会を東京都で開催	2
定例理事会議事報告(平成22年7月・9月・10月)	3
平成22年度前期経営幹部研修会開催	研修委員会 4
平成22年度講演会「神奈川発!!地球にいいこと、ひとつずつ」開催	技術委員会 5
横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる	安全委員会 6
神奈川県県土整備局主催による震災対策訓練行われる	安全委員会 7
横浜市優良工事表彰式	7
当工業会後援「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」の開催	8
親睦会報告	9
会員消息	10
編集後記	12

(社)日本空調衛生工事業協会 第17回全国会議を鹿児島市で開催



平成22年10月21日(木)鹿児島市「城山観光ホテル」において、(社)日本空調衛生工事業協会第17回全国会議が開催され、全国から約300人の会員等が参加しました。

今回は、「空調衛生工事業の独自性の確立」を基本課題として、まず全体会議が行われ、(社)日空衛有馬修一郎会長の開会挨拶、国土交通省河村正人大臣官房審議官の来賓挨拶の後、基調講演として、(社)空気調和・衛生工学会会長坂本雄三氏から「地球温暖化対策と空調衛生工事業界」(低炭素社会への動向と空衛産業への期待)と題して講演が行われ、日本の温暖化対策は、京都議定書の達成を大目標に進められてきた。しかし、2008年のリーマンショック以降、世界の動向と同調して、温暖化対策を経済対策の一つとして位置づけるようになり、大きな動きとなっている。中でも住宅・建築の省エネ施策が最重要視されてきている。また、温暖化対策は世界の政治課題であり、環境産業の創生とCO₂削減の成功が日本の立場を良くすると述べられ、更に「①世界の政治課題としての地球温暖化対策の現状 ②建築の省エネルギーの考え方・基準・技術・事例 ③設備の省エネルギーにおいては、ヒートポンプが有力な手法 ④建築ストックの低炭素化には設備の省エネ改修が有効な手法 ⑤低炭素社会への動向と空衛産業への期待」等をプ

ロジェクターを使って具体的に解説し、むすびとして、日本を含む世界の政治は温暖化防止(省エネ・低炭素化社会)に向け動き始め、もはや流れをとめることができず、このコンテキストの中で考えれば、建築・設備の省エネ化は必至であり、建築ストックが増大する中で、設備機器の省エネ改修は有効な手法であると共に、政府も大いに期待をして補助金を出している。また、日空衛も空調学会も、こうした政策に積極的に対応しており、社会の期待にも応えていると述べられ、最後に、今後予想される政策として「CO₂ 25%削減のロードマップ作成(環境省)」、「住宅・建築の省エネルギー基準の義務化(国交省)」、「住宅エコポイント・学校エコ改修などへの補助金事業の継続」、「フロン冷媒の回収に関する規制の強化」などを挙げられており、空調設備・機器の省CO₂に向けての環境ビジネスが今後大いに増大することが期待されました。

続いて、事例発表があり最初に「更なる低炭素社会の実現に向けて」と題して、日空衛低炭素社会対応委員会委員の伊東啓一氏から日空衛で作成した冊子「更なる低炭素社会の実現に向けて」について、作成に至った背景や空調衛生工事業界が果たした役割、今後の果たすべき役割について、冊子の行間に込められた内容を含めた説明がありました。

次に、「博多駅南ビルにおける省エネルギー手法と削減効果について」と題して、(株)菱熱技術本部技師長の香月憲昭氏から、平成15年に竣工した博多駅南ビル（自社ビル）では、建築、設備の両面で様々な工夫を凝らし、多くの省エネルギー手法を採用し、その結果大きな省エネルギー効果とCO₂排出の削減を達成した。また、最新技術を活用して更なる省エネルギー化にも取り組んでいくとの報告がありました。

最後に、「地方での省エネの取り組み～菱機工業株式会社の事例～」と題して、菱機工業(株)設

計企画部長谷内周司氏と設計企画部課長補佐石田彰氏から自社で受注して成功した事例の経緯、波及効果などを説明し、省エネ環境ビジネスへの参入に当たっては、国土交通省、県、市などの各種補助金の活用や地方銀行、地方リース業者との情報交換、これらを踏まえた包括的な、共同事業的発想による省エネ、環境対策を行うことの必要性について発表がありました。

当工業会からは、川本会長、中村副会長、大橋専務理事が出席しました。

(社)日本空調衛生工事業協会 平成22年度関東支部総会を東京都で開催



平成22年11月16日(火)東京都中央区の「八重洲富士屋ホテル」において、(社)日本空調衛生工事業協会平成22年度関東支部総会が開催されました。

総会は、開催地の(社)東京空気調和衛生工事業協会の梶浦卓一副会長の開会のことばで始まり、初めに、関東支部長の(社)東京空気調和衛生工事業協会是常博会長から挨拶がありました。

続いて、出席者の紹介の後、東空衛の是常博会長を議長に選出し、議事に入り、まず、関東支部の事業報告を支部事務局の(社)東京空気調和衛生工事業協会高山剛事務局長が行い、承認されました。

次に、本部報告が行われ、(社)日空衛坂山修平専務理事から、最近の日空衛の活動状況について説明がありました。

次に、次期総会を栃木県で開催することを決定しました。

最後に、東空衛の吉川弘一副会長の閉会のことばで総会を終了しました。

なお、総会終了後、数学者・作家の藤原正彦氏から「日本人のこれから」と題して講演がありました。

また、総会終了後、懇親会が開かれ、まず主催者を代表して、東空衛の今福克昌理事から歓迎の挨拶がありました。続いて、是常関東支部長の挨拶、来賓として金子敏夫東京都財務局建築保全部長の挨拶がありました。

この後、有馬修一郎日空衛会長の乾杯に続き、懇談に入り、日空衛本部並びに関東支部を構成する1都7県・8団体の参加者約80名が情報を交換し、懇親を深めて散会しました。

当工業会からは、川本会長（副支部長）、山本副会長、佐藤・築地・有井・鈴木・小堀理事、大橋専務理事が出席しました。

定例理事会議事報告(7月・9月・10月)

7月定例理事会

平成22年7月9日(金)午後4時30分から第455回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 日空衛「関東支部総会」について

大橋専務理事から、11月16日(火)に東京都中央区「八重洲富士屋ホテル」で開催される日空衛「関東支部総会」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、各委員長、専務理事の出席を求める発言があり、了承されました。

2. 第48回技能五輪全国大会における競技補佐員の推薦について

中村副会長兼総務委員長から、大橋専務理事に対して「第48回技能五輪全国大会における競技補佐員」の推薦について資料説明が求められました。

専務理事が、日空衛から神奈川県で開催する第48回技能五輪全国大会の「配管」職種への競技補佐員として神空衛に対し5名を推薦して欲しい旨の依頼があったことを資料により説明をし、推薦を募ったところ川本会長から、10月20日(水)から25日(月)と土日も含めたタイトな日程であるため、川本工業(株)で5名を推薦することで対応したいとの提案があり、了承された。

3. 江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑への後援について

中村副会長兼総務委員長から、大橋専務理事に対して、「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」の後援について資料説明が求められました。

専務理事が資料により説明を行い、当工業会のチャリティの支援は昨年と同様後援とし、入場券を100枚購入し、横浜市社会福祉協議会に寄贈することを提案しました。

また、川本会長から当工業会の地域福祉への支援活動の一環として演芸チャリティ笑への後援を行いたい旨の説明があり、協議の結果、了承されました。

9月定例理事会

平成22年9月10日(金)午後2時から第456回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 日空衛「全国会議」について

大橋専務理事から、10月21日(木)に鹿児島県鹿児島市「城山観光ホテル」で開催される日空衛「全国会議」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、専務理事の出席を求める発言があり、了承されました。

2. 当工業会のジョブ・カード制度に係る事業の受託について

中村副会長兼総務委員長から、大橋専務理事に対して、「当工業会のジョブ・カード制度に係る事業の受託」について資料説明が求められました。

専務理事が、資料によりジョブ・カード制度(厚生労働省の委託事業)の概要について説明を行い、事務局として、当工業会がこの事業を受託することを提案しました。

また、川本会長から会員企業が来年度学卒者等を採用する場合、この制度を活用すると国からの助成により職業訓練(OJT・OFF-JT)に係るコスト負担が軽減される等の説明があり、事務局提案は了承されました。

10月定例理事会

平成22年10月8日(金)午後2時から第457回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 中間決算について

中村副会長兼総務委員長から、大橋専務理事に対して、中間決算について報告が求められました。

専務理事が資料により報告を行い、承認されました。

2. 12月定例理事会について

専務理事から、12月定例理事会について、12月10日(金)午後3時から「華正樓」本店で行いたい旨の説明があり、了承されました。

平成22年度前期経営幹部研修会開催

全社体制で臨むコストダウン経営

「現場の原価管理と会社の経営管理を連動させる」で講演

研修委員会



小澤 康宏 講師

平成22年度の前期経営幹部研修会が平成22年9月17日(金)午後2時から ホテル横浜ガーデンにおいて開催されました。

今回の研修会は、会員企業の経営に資するため、(株)建設経営サービス 提携講師 小澤康宏氏を講師に招いて講演が行われ、(社)神奈川県電業協会からの参加も得て、49名が受講しました。

開講に先立ち、川本会長から主催者を代表して本研修会の意義等について挨拶があり、続いて小澤講師よりテキストに基づく講演が行われました。

なお、本研修会は、横浜市の建設関連産業活性化支援事業に伴うアドバイザー派遣制度要綱第5条第4項の規程に基づくアドバイザー派遣事業に指定されています。

講演

テーマ

全社体制で臨むコストダウン経営
～現場の原価管理と会社の経営管理を連動させる～

講師 (株)建設経営サービス
提携講師 小澤 康宏 氏

内容 (概要)

経営者には、「工事を受注しても、営業利益が確保できない」といった悩みを持っている

方がおります。これは、もはや構造的な問題です。抜本的に経営を見直す必要があります。自らそのコストダウン経営に対してチェックし、課題を抽出する必要があります。単に現場に「頑張れ」と言ってどうにかなるものではありません。会社として、現場をコントロールしながらコストダウンを実施する必要があります。

本講習会では、そんな悩みを抱えた経営者を対象に「コストダウン経営」を事例を交えて解説しました。

(主な項目)

- 1 何故、コストダウンが進まないのか
・経営者自己チェック&課題抽出
- 2 現場のコストダウン目標を決定
(1) 自社の環境を踏まえたコストダウン戦略構築
(2) 経営数値から現場のコストダウン目標へブレイクダウン
(3) コストダウン目標を達成させるための具体策立案
- 3 現場の原価管理を統制
(1) 部門統制
(2) 現場統制
- 4 会社と現場を一体化したコストダウン事例

平成22年度 講演会 「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」開催 技術委員会



(社)神奈川県空調衛生工業会は、平成21年1月に『環境宣言』をおこない、『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をスローガンに、全会員とともに、環境保全活動を推進することを宣言しました。技術委員会では平成20年度は、『地球を考える。地球にやさしい建物とは』をテーマに横浜市のご協力で、また、平成21年度は、環境宣言スローガン『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をテーマとして、神奈川県のご協力にて講演会を開催してまいりました。

今年は『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をメインテーマとして、関係団体との環境問題の取組みへの連携を深めるため、(財)横浜市建築保全公社を主催に、当工業会は「(社)横浜市電設協会」、「横浜市管工事(協)」、「(協)横浜市設備設計」と共に共催で、平成22年11月1日(月)に横浜情報文化センター6階にて開催をしました。

講演内容は、まず、第1部で「公共工事における地球温暖化対策の取組」をテーマとして、(財)横浜市建築保全公社から「地球温暖化対策の現状と対応」について講演があり、地球温暖化の現状と横浜市の対応についての説明がありました。

続いて、「公共施設照明における省エネ・エコの取組」と題して、照明器具メーカー3社(パナソニック電工(株)、三菱電気照明(株)、岩崎電気(株))による「LED照明の特性と市場性」、「スカイツリー照明」、「ハイブリット太陽光」等の説明がありました。

講演第2部では「公共工事の環境対策等」と題して、神奈川県環境農政局大気水質課副主幹 高木純一氏から「フロン回収破壊法の概要」について講演があり、「改正フロン回収・破壊法の概要」、「行程管理制度の解説と行程管理票」、「事前確認書、行程管理票の記入例」等の説明がありました。

最後に、「公共工事の品質確保」と題して、(財)横浜市建築保全公社より「横浜市建築保全公社の工事成績採点基準」について評定要素及び評定基準の説明がありました。

これらの講演を通じて、我々エネルギーを扱う業界団体として、今後も尚一層の環境に配慮した行動(企業活動として、個人の生活として)に努めなければならないと痛感しました。

当日の参加者は170名で当工業会からは28名が出席しました。

(技術委員会T・T記)

横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる 安全委員会



防災の日の9月1日(水)に先立ち、8月27日(金)に「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、災害時の迅速な防災拠点の確保に向けた即時出動訓練が、横浜市と出動協定をしている建設5団体の横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、神奈川県電業協会、当神奈川県空調衛生工業会の即時出動者会員、バックアップ会員の合計273名が参加し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす区庁舎、消防署、病院等で実施されました。

横浜市指定の51施設のうち、今回は対象施設49施設(36班)で、当工業会は47施設(35班)の訓練が実施され、即時出動者会員43名(22社)とバックアップ会員37名(35社)の合計80名(51社)〔※即時、バックアップ重複6社〕が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障、漏水などを想定した被害状況が報告され、各所で安全点検、安全措置などを訓練実施しました。

訓練は、各出動者の協力のもと滞りなく終了しました。本番さながらの訓練は、今後の対応の中で生かされるものと思います。



今回の「横浜市震災時即時出動訓練」に 参加し、ご協力をいただいた会員会社

◎ 即時出動者会員 (22社)

(株)朝日工業社、エルゴテック(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、(株)京浜設備工業所、(株)光電社、斎久工業(株)、相模設備工業(株)、三機工業(株)、(株)三冷社、(株)城口研究所、新菱冷熱工業(株)、正和工業(株)、第一工業(株)、大成温調(株)、ダイダン(株)、東京ガスエネットワーク(株)、東洋熱工業(株)、(株)西原衛生工業所、日宝工業(株)、(株)ヤマト、山本電気水道(株)

◎ バックアップ会員 (35社)

(株)アクトエンジニアリング、アトム冷熱工業(株)、カナレイ(株)、共栄産業(株)、(株)清田工業、(株)康栄社、興和工業(株)、(株)小松工業、(株)サノセキエンジニアリング、三建設備工業(株)、(株)三晃空調、芝工業(株)、(株)昭和工業、神中工業(株)、新日本空調(株)、新菱冷熱工業(株)、第一工業(株)、第一設備工業(株)、太建工業(株)、ダイダン(株)、鷹羽工業(株)、(株)司工事、(株)テクノ菱和、東京ガスエネットワーク(株)、南海工業(株)、(株)日設、(株)ニッセツ、万里設備(株)、日比谷総合設備(株)、豊正工業(株)、三沢電機(株)、南設備工業(株)、山本電気水道(株)、(株)ヨコレイ、菱和設備(株)

神奈川県県土整備局主催による震災対策訓練行われる 安全委員会



平成22年11月16日(火)に「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づき、大規模地震発生時の迅速な拠点施設の確保に向けた自動出動訓練が、神奈川県と出動協定をしている建設6団体の神奈川県建設業協会、神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜建設業協会、川崎建設業協会、川崎市空調衛生工業会から会員合計18名(13社)が参加し、県庁舎、厚木合同庁舎、平塚合同

庁舎、平塚保健福祉事務所の4箇所で開催されました。

当工業会からは、出動会員4名(3社)が参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障などを想定した被害状況が報告され、安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

今回の「神奈川県震災対策訓練」に参加し、
ご協力をいただいた会員会社

川本工業(株)、ダイダン(株)、(株)根布工業



横浜市優良工事表彰式

横浜市の平成22年度優良工事表彰式が、平成22年10月28日(木)ワークピア横浜において開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した請負業者及び技術者の方々に対して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、請負業者表彰は今回で31回目、技術者表彰は4回目となります。

本年度の優良工事請負業者表彰には、設備部門が13社、建築部門7社、土木部門が33社の合計53社が、また、優良工事技術者表彰には、設備部門が15名、建築部門が5名、土木部門が55名の合計75名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に林文子市長から、表彰状が手渡されました。

当工業会会員からは、優良工事請負業者表彰で次の3社が、また、優良工事技術者表彰で次の6名の方が表彰されました。心からお慶び申し上げます。

優良工事請負業者表彰 [設備部門]

川本工業 株式会社	代表者	川本 守彦
株式会社 小松工業	代表者	小松 恵三
山本電気水道 株式会社	代表者	山本 正寿

優良工事技術者表彰 [設備部門]

大竹 輝宏	(共栄産業 株式会社)
小林 敦史	(三沢電機 株式会社)
小松 周司	(株式会社 小松工業)
佐藤 猛	(川本工業 株式会社)
福島 則彦	(川本工業 株式会社)
宮沢 五郎	(南設備工業 株式会社)

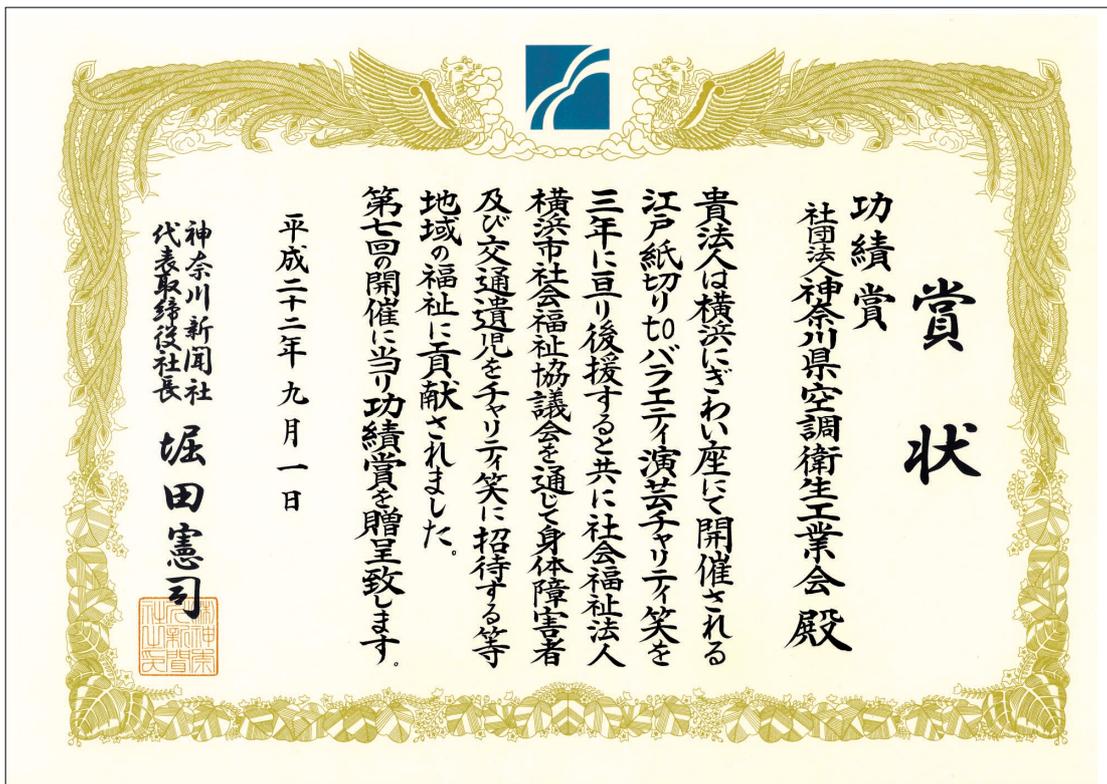
当工業会後援 「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」



当工業会が後援（主催：Ken Planning第7回江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑実行委員会）をした「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」が平成22年10月16日(土)午後1時30分から、横浜にぎわい座芸能ホールで開演されました。

当日は、横浜市社会福祉協議会をとおして身体障害者の方々など50名を無料でご招待し、アマチュアの方々が演じた「ほのぼののパフォーマンス」、「落語」、「奇術」、「江戸太神楽」、「紙切り」等を堪能していただきました。

また、当工業会が「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」に身体障害者や交通遺児を招待する等地域の福祉に貢献したことにより、神奈川新聞社から功績賞が授与されました。



親睦会報告

◎平成22年度後期ゴルフ大会



優勝 渋谷 和彦氏〔株三晃空調〕

渉外委員会主催の後期ゴルフ大会が、平成22年11月4日(木)に横浜カントリークラブにおいて36名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優勝 渋谷 和彦〔株三晃空調〕
 準優勝 新井 貴洋〔三建設備工業(株)〕
 3位・ベストグロス賞 森部 等〔鷹羽工業(株)〕



平成22年度「後期ゴルフ大会」参加者の皆様



『全国労働衛生週間』ポスター(2種類)を正会員各位に配付しました。(安全委員会)

会員消息

《正会員》

株式会社 アクトエンジニアリング				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	本社	代表者	代表取締役 村上 純一	代表取締役 川本 守彦
株式会社 朝日工業社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	横浜支店	事業所責任者 (役職名)	取締役 常務執行役員 横浜支店長 松竹 眞	上席執行役員 横浜支店長 松竹 眞
平成22年9月		〒	〒231-0023	〒231-0005
		所在地	横浜市中区山下町23 (日土地山下町ビル5階)	横浜市中区本町3-33 (日土地ビル内)
旭シンクロテック 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	大和営業所	事業所責任者	大和営業所長 鳥田 亮太郎	大和営業所長 天羽 政勝
株式会社 協和日成				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	神奈川支店	事業所責任者	神奈川支店長 佐藤 和彦	神奈川支店長 近藤 孝次
		FAX	044-844-5353	044-813-2701
株式会社 清田工業				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	神奈川営業所	事業所責任者	神奈川営業所長 高野 久	神奈川営業所長 保住 順一
株式会社 小松工業				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年9月	本社	代表者	代表取締役 小松 信幸	代表取締役 小松 恵三
三機工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 高橋 禎浩	理事 横浜支店長 大原 宏彦
三建設備工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 櫻木 雅之	横浜支店長 氣谷 敦雄
株式会社 三冷社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 森 昭博	横浜支店長 岩崎 昌春
新菱冷熱工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 吉田 哲朗	横浜支店長 中村 憲一
須賀工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 福原 保豊	横浜支店長 山本 和夫
大成温調 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	本社	代表者	代表取締役社長 山口 隆義	代表取締役社長 水谷 大介
日比谷総合設備 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	本社	代表者	代表取締役 野村 春紀	代表取締役 木村 信也

《賛助会員》

イシグロ 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 小林 敏治	横浜支店長 浜野 新一

株式会社 INAXサンウエーブマーケティング

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年7月	横浜第1支社	事業所名	株式会社 INAXサンウエーブマーケティング 横浜第1支社	株式会社 INAX 横浜支社

空研工業 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年8月	東京支店	〒	〒105-0011	〒150-0044
		所在地	東京都港区芝公園1-3-1 (留園ビル8階)	東京都渋谷区円山町28-1 (トウセン道玄坂第2ビル)
		TEL	03-5776-4961	03-3464-0161
		FAX	03-3431-6568	03-3464-0168

積水アクアシステム 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	横浜営業所	事業所責任者	横浜営業所長 高橋 純	横浜営業所長 三川 信男

ダイキン空調神奈川 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年4月	本社	代表者	取締役社長 森本 教	取締役社長 関本 雄樹

ダイキン工業 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	東京支社	事業所責任者	アプライト・ソリューション事業本部 営業部長 安富 法影	空調営業本部 設備営業部長 安富 法影

東京電力 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年6月	神奈川支店	事業所責任者	執行役員 神奈川支店長 小田切 司朗	執行役員 神奈川支店長 廣瀬 直己

東芝キャリア 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年10月	神奈川営業所	事業所名 事業所責任者	東芝キャリア 株式会社 神奈川営業所 神奈川営業所長 天水 健司	東芝キャリア 株式会社 神奈川支店 神奈川支店長 柏木 久志

日本管材センター 株式会社

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年7月	本社	〒	〒104-8401	〒104-8401
		所在地	東京都中央区八丁堀2-24-3 (PMOビル)	東京都中央区八丁堀2-23-1 (エンパイヤビル)

株式会社 三菱樹脂販売 関東営業本部

変更年月	変更事項		新	旧
平成22年7月	関東営業 本部	事業所名 事業所責任者(役職名)	株式会社 三菱樹脂販売 関東営業本部 営業第2部 部長 飯田 由久	三菱樹脂 株式会社 関東支社 設備機器営業部 部長 飯田 由久

編集後記

朝晩めっきり冷え込む季節になり、紅葉の見頃も終盤を迎えました。

今年の夏は、異常気象で、各地で大雨が降り、洪水などで大変な被害をもたらしました。

自然の力には、人は逆らえない事だと実感した出来事でした。

さて、我々が携わる建設業を取り巻く環境も、依然として大変厳しい状況にあります。建設業は、国内総生産の2割弱に相当するそうで、全就業人口の約1割の人が携わっている計算になります。

しかしながら、建設投資の減少、公共工事の減少など、工事量は縮小傾向にあります。

また、建設業は、機械化が日々進歩する現代でも人の手に頼らざるを得ない部分が数多くあり、人材の育成は技術の伝承のためにも、建設業にとって大変重要です。

ゴルフ界を例えるならば、若手の育成に力を入れ、石川遼など次世代の若手が着々と育ってきています。

建設業界も、人材の育成、品質確保の為に体制作りを進め、関係各社の更なる飛躍・発展を期待致します。

これから、ますます寒さも厳しくなります。風邪など引かぬよう十分にお気をつけ下さい。

(T. O)

今までもこれからも、水と空気で、未来を創る。 **TERAL**

**コンパクト、施工性は
そのままに性能がアップしました。**



直結加圧形ポンプユニット

MC4



(社)日本水道協会認証品



テラル株式会社 www.teral.net

東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル5階

TEL.03-3818-7800 FAX.03-3818-5031

横浜第1営業所 / 〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 (テクノウェイブ100 10F)

TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

横浜第2営業所 / 〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 (テクノウェイブ100 10F)

TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国10支店、47営業所



環境と時代の共生を求めて。

kanzai

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材、国内外総合商社

日本管技センター株式会社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀2-24-3 PMOビル
TEL.03(5541)5111(大代表) FAX.03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場3-2-4
TEL.03(3522)1261(代表) FAX.03-3522-1265

TOTO

衛生陶器並附属金具
各種水栓金具
洗面化粧台・浴槽
給湯機
受水槽・高架水槽
システムキッチン設計施工
ユニットバスルーム設計施工

創業明治29年・TOTO(株)特約店

丹羽窯業株式会社

本社・横浜営業所
横浜市中区日ノ出町1-103 045(241)5321

東京営業所
東京都台東区台東1-27-7 03(3822)0267

目黒営業所
東京都目黒区南3-15-4 03(3718)4135

湘南営業所
藤沢市善行6-19-1 0466(82)6120

さがみ営業所
相模原市中央区上溝2370-6 042(764)7177

azbil

グループ

創業1906年 山武の進化
人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

建物から社会へ、地球環境へ



株式会社 山武
ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー
TEL.045-224-1550 <http://www.azbil.com/jp/>

azbilは山武グループのシンボルマークです。

Marketing

Planning

Creative

Printing

 株式会社 D-サイト

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号
TEL.045-439-3433 (代) 担当: 矢向 FAX.045-402-8462
TEL.045-439-3451 (制作部)

bestcommunication: マーケティング・企画・制作・印刷

会 報

第108号 平成22年11月30日

社団法人 **神奈川県空調衛生工業会**

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L: <http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト